

全腎協第 19-2166 号

2020 年 3 月 9 日

厚生労働大臣
加藤 勝信 殿

一般社団法人 全国腎臓病協議会
会長 馬場 享

新型コロナウイルス感染症対策についての要望書

謹啓 日頃より国民生活向上のためご尽力賜り、心より感謝申し上げます。私ども（一社）全国腎臓病協議会（全腎協）は、すべての腎臓病患者の医療と生活の質の向上を目的として、1971 年に設立した人工透析患者を主体とする腎臓病当事者の全国組織で約 7 万人の会員を持つ当事者団体です。

現在、新型コロナウイルスは全国的に拡散し、感染者数が増加しております。

人工透析患者は感染リスクが高いと言われております。また、人工透析患者は高齢化しており、原疾患が糖尿病性腎症の患者も多数います。すでに九州では人工透析患者の感染者も発生しており、当事者として大変危惧しております。

私たちが引き続き安心して透析治療を受けることができるよう、以下の通り要望いたします。

謹白

記

1. 人工透析患者が新型コロナウイルスの感染の疑い及び感染した場合には、人工透析治療が中断することが無いよう対策に取り組んでください。
2. 新型コロナウイルスの検査体制の拡充と治療法の早期確立に取り組んでください。とりわけ、感染拡大を防ぐため必要と思われる人工透析患者には速やかに PCR 検査が受けられるよう取り組んでください。
3. 患者に不安を抱かせないよう新型コロナウイルスに関する情報開示及び情報発信について取り組んでください。

以上